いわむろ
発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K・K
No.106

岩室村の人口
（1月1日現在）

男……	4,305人	（△ 3）
女……	4,925人	（△ 9）
計……	9,230人	（△12）
世帯数……	2,019世帯	（△ 3）

（住民基本台帳による）

はたちに思う
71成人式意見発表

人生への挑戦
横曽根　富沢　幸一

はたちとか、大人になったとかということをあまり気にしようとは思わない。急に変わらなければならない悩みの種なんて世の中にはいて捨てるほどある。いちいち気にしていたら息がつまってしまうだろう。

ゲーテいわく「全生涯中真に幸福であった日は、四週間もなかった……」と。確かに幸福の基準はこの世には存在しない。十人十色どこにそれを見出し、どのように自分のものにして行くかが課題だと思う。

職業は生活の背骨であるが、食うために仕方なく仕事をするということにはなりたくないものだ。

俺は、俺の幸福な人生というものに挑戦する。

言動の一致
岩室　高島帰依子

成人式を迎えて自らへの反省と共に、現在の社会に対して淋しさを覚えます。

わずか十数年前に私たちが、自然の中で親しんだ素朴な温かさが、子供の世界から消えて行くようです。

驚異的経済繁栄の反面、公害の発生は人類の墓場とさえ形容され、人間の心の空洞はひろがり、徹底した利己主義がまかり通っています。いま一度一人一人が「人間の社会とは？」と、自分自身に問いかけるべきだと思います。

自立と責任。今までとはちがった響きで、重く冷たく社会から要求されてくるでしょう。自分の心に常に問いかける態度と、外面的な実践、つまり言動の一致がいかに困難であるかが、痛感されます。現実を見きわめ、聞くべきは耳を傾け、言うべきははっきり口を開いて、正しく現実に対処する態度が、今こそ必要なのではないでしょうか。

社会に目を向けて
和納三区　斎藤　寛子

まだまだ先のことだと思っていたのに、もう成人式を迎えている自分にびっくりしているというのが、正直な実感です。

でも、この日を境に、立派に一人立ちし、誰にも迷惑をかけることなくやっていきたいと思っています。

「今の若い者は……」という言葉から感じられる反発も、単に気分的なものとして漠然と毎日を送るのではなく、一日一日を充実し、いつも前向きの姿勢でありたいと思うのです。

今年からは、選挙権も行使できます。一歩前進するためにも、もっと社会に目を向けて、少しづつでも本を読み、毎日の新聞も読んで、大人たちとも積極的に話し合い、これからの時代は私たちの時代なんだという自覚を、お互いに持ちたいものです。

役に立つ石に……
西中　本間　由子

「ほんとにそうだ」という返事が出てこないのです。成人。これは人生の一つの小さな駅に過ぎません。

「私は大人だ」みんなのまねをしてそっと口に出してみました。「ほんとにそうか」……どういうわけかいまこの駅に降り立って、何をしにどこへ向けて歩き出そうとしているのか。

ただ一つはっきりしているのは、責任を他に転嫁することなく、自分の足で歩かねばならないということです。

「小さくても石垣に必要な、役に立つ石になれ」先輩の教えの言葉です。

いまこのはたちの駅で、多勢の中の一人として、その力をしっかりと身につけて、乗りおくれないよう、次の駅をめざしたいと思います。

何によって生きるか
西中　本間　秀基

最近我ら若者は、自分さえよければ他はどうでもよいエゴイストだ。無関心・無責任・無気力の三無主義だといわれ、はては危険な十九才というレッテルさえ貼られてしまった。

これはしかし、極く一部の姿であって、若者全体のものではない。また、エゴだ三無だと言われる行動もその大部分は、人生に対する暗中模索の姿だと、私は言いたい。

戦前の若者たちは、天皇という絶対の存在を中心にして、生死の意味を考えてきた。それが当時の社会の普遍的な原理であった。

ところが現代の若者は、何をもって人生のカテとするか。トルストイは、人は愛によって生きると説き、有島武郎は、愛は惜しみなく奪うと言った。

不信に満ちた世の中とはいえ、自分が生きているということを事実として、その意味を私は探り続ける。生に意義があり、誇りも持てるし、いくらかでも成長したといえるのではないだろうか。

流れる川に……
潟上　藤田　昭夫

未熟ながらも、責任ある社会人としての立場に立った僕たち。お互いに職業がちがっていても、それぞれの立場で、社会性・経済性・文化性を身につけていかなければならないと思う。

その努力があってこそ人

流れることを忘れて
黒くよどんでいる川は
いやだ
汗を流すことを忘れて
青くふくれている顔は
いやだ
考えることを忘れて
からから乾いている頭は
いやだ
流れることを求めている
川はつねに
生き生きとうごく体と
はつらつとはたらく
頭を持って
なにかをやりとげる
人間に
おれはなりたい